

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver FailSafe Option
1.0 for Linux

リリースメモ

© 2012(Sep) NEC Corporation

- ライセンス
- パッケージのインストール
- マニュアル
- 補足事項・注意事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver FailSafe Option 1.0 for Linux（以後 ProcessSaver FailSafe Option と記載します）の動作に必要な手順について説明します。

（1）商標および登録商標

- ✓ Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat,Inc. の登録商標または商標です。
- ✓ SUSE は、米国およびその他の国における Novell,Inc. の商標 です。
- ✓ MIRACLE LINUX は、ミラクル・リナックス株式会社の登録商標です。
- ✓ Asianux は、ミラクル・リナックス株式会社の日本における登録商標です。
- ✓ Turbolinux は、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1	ライセンス	1
1.1	コードワードの取得	1
1.2	コードワードの登録	1
2	パッケージのインストール	2
2.1	動作環境	2
2.2	使用パーティションおよび必要容量	3
2.3	提供媒体	3
2.4	依存パッケージ	3
2.5	ソフトウェアパッケージのインストール	4
2.6	ソフトウェアパッケージのアンインストール	5
3	マニュアル	6
4	補足事項・注意事項	6

1 ライセンス

1.1 コードワードの取得

本製品を導入する前に、あらかじめロック解除のためのコードワードを取得する必要があります。

製品添付の「コードワードについて」の手順に従って、コードワードを取得してください。

1.2 コードワードの登録

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」及び製品添付の「コードワード登録手順」の手順に従って本製品をインストールするマシンに、取得したコードワードを登録してください。

[手順の概要]

1. ライセンスツールのインストール

ライセンスツールをインストールします。

既にインストール済みの場合は本手順は不要です。

ライセンスツールは製品媒体の /Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。

2. コードワード登録ファイルの作成

コードワード登録ファイルを作成します。

既にファイルを作成済みの場合は本手順は不要です。

3. コードワードの登録

コードワード登録ファイルに取得したコードワードを登録します。

記述ミスなどが無い様に正確に記述してください。

4. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

```
(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4438-102  
      license OK
```

「license OK」と表示されることを確認してください。

2 パッケージのインストール

2.1 動作環境

ProcessSaver FailSafe Option は以下の OS での動作を保証しています。
事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- ・Red Hat Enterprise Linux AS 3.0
- ・Red Hat Enterprise Linux AS 4.0
- ・Red Hat Enterprise Linux ES 3.0
- ・Red Hat Enterprise Linux ES 4.0
- ・Red Hat Enterprise Linux 5
- ・Red Hat Enterprise Linux 6
- ・Oracle Enterprise Linux 5
- ・Oracle Enterprise Linux 6
- ・SUSE Linux Enterprise 9
- ・MIRACLE LINUX V3.0
- ・Turbolinux 10 Server
- ・Asianux 2.0
- ・CentOS 4

サポート対象ハードウェアは、IA32 搭載マシンです。

また以下の OS は EM64T 搭載マシンにも対応しています。

- ・Red Hat Enterprise Linux AS 3.0
- ・Red Hat Enterprise Linux AS 4.0
- ・Red Hat Enterprise Linux ES 3.0
- ・Red Hat Enterprise Linux ES 4.0
- ・Red Hat Enterprise Linux 5
- ・Red Hat Enterprise Linux 6
- ・Oracle Enterprise Linux 5
- ・Oracle Enterprise Linux 6

2.2 使用パーティションおよび必要容量

ProcessSaver FailSafe Option で使用するパーティションと必要なディスク容量は以下のとおりです。

ご使用前にお確かめください。

使用パーティション	必要容量
/var	約 1.0M バイト

2.3 提供媒体

ProcessSaver FailSafe Option の媒体は、メディア用の型番で提供されますので、別途、購入が必要です。以下の媒体からインストールしてください。

- ・ CD-R(MDL143810101-2)

2.4 依存パッケージ

ProcessSaver FailSafe Option を使用する場合は、以下のプロダクトがインストールされている必要があります。

- ・ CLUSTERPRO MC ProcessSaver 1.0 for Linux 以降

2.5 ソフトウェアパッケージのインストール

1. ProcessSaver FailSafe Option の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD) 装置に挿入してください。
2. mount(8) コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD) 装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. rpm(8) コマンドにより、ProcessSaver FailSafe Option のパッケージをインストールします。

```
# rpm -ih /mnt/cdrom/Linux/option/fso/rpm/clusterpro-mc-psfso-w.x.y-z.i386.rpm
```

4. rpm(8) コマンドにより、ProcessSaver FailSafe Option が正しくインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-psfso  
clusterpro-mc-psfso-w.x.y-z.****
```

(注)シリーズで機能強化があるとバージョン番号 w.x.y-z の w,x,y,z が更新されます。

**** は OS のバージョンに依存します。

5. マウントした媒体を umount(8) コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD) 装置から取り出します。

以上で ProcessSaver FailSafe Option のインストールは終了です。

2.6 ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. rpm(8) コマンドを使用してアンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-psfso
```

以上で ProcessSaver FailSafe Option のアンインストールは終了です。

3 マニュアル

ProcessSaver FailSafe Option のマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC ProcessSaver FailSafe Option ユーザーズガイド	/Linux/option/fso/manual/Linux_PSFSSO_readme.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からアクセスできます。

PDF ファイルを参照できるソフトウェアを使ってマニュアルをご覧ください。

4 補足事項・注意事項

特になし。

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver FailSafe Option 1.0 for Linux
リリースメモ

2012年9月第1版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111(代表)



© NEC Corporation 2012

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙